

授業科目	広告ディスプレイⅡ	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	高橋伸明	実務経験		プロダクトデザイナー			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科 2年	担任		瀧田龍晃			
授業の概要	「広告ディスプレイⅠ」を受けた実践的提案ツール制作の基礎的技術の修得。						
学修内容 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：商品企画から店舗ディスプレイ企画提案に至るまでの解説 2. V. Iとサイン計画：V. Iの計画、デザイン、展開計画を行う 制作1 3. V. Iとサイン計画 制作2 4. V. Iとサイン計画 制作3 5. 店舗スケッチパース：店舗インテリア、外観におけるスケッチパース解説と演習 制作1 6. 店舗スケッチパース 制作2 7. 店舗スケッチパース 制作3 8. 店舗スケッチパース 制作4 9. 店舗スケッチパース 制作5 10. 企画書レイアウト：企画書の図版、テキストのレイアウトに関する解説と演習 制作1 11. 企画書レイアウト 制作2 12. 企画書レイアウト 制作3 13. 企画書レイアウト 制作4 14. 企画書レイアウト 制作5 15. 企画書レイアウト 制作6 16. プレゼンテーション 事前指導 17. プレゼンテーション：完成した企画書を学生が発表し、講評する 						
使用テキスト 教材等	なし						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、作品評価点（各100点満点）の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D（不合格）とする。</p>						
履修にあたっての 留意点							

授業科目	コピーワーク	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	門井	実務経験		ディレクター			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科 2年	担任		瀧田			
授業の概要	取材や調査、体験を元に長文を作る。指定文字数でまとめる。 チームワークで「伝わる文章」「コンセプト」「制作企画」を作る。 講評会を経て、プレゼンテーション能力を鍛える。						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	1. 課題1) 友人の就活PR文章/取材400字 「取材」聞き出す力。5W1Hにあてはめる 2. 課題1) 友人の就活PR文章/取材400字 「取材」聞き出す力。5W1Hにあてはめる 3. 課題1) 友人の就活PR文章/取材400字 文章の表現、口語体と文語体、固有名詞は正式名称 4. 課題1) 友人の就活PR文章/取材400字 文章の表現、口語体と文語体、固有名詞は正式名称 5. 課題1) 友人の就活PR文章/取材400字 講評会 6. 課題2) 研修レポート/学外研修で体験した「明治村」「リトルワールド」の観光レポート1,000文字文章作成 研究調査 7. 課題2) 研修レポート/5W2Hにあてはめる (How Match追加) 8. 課題2) 研修レポート/時間軸を追った表現 9. 課題2) 研修レポート/タイトル、リード、見出し、本文、キャプション 10. 課題2) 研修レポート/画像を含めたレイアウト 11. 課題3) 空想クッキングレシピ/グループワーク ブレインストーミング 12. 課題3) 空想クッキングレシピ/ターゲット、コンセプト、料理名決定 13. 課題3) 空想クッキングレシピ/短く、流れの良い文章表現 14. 課題3) 空想クッキングレシピ/短く、流れの良い文章表現 15. 課題3) 空想クッキングレシピ/プレゼンボード作成 16. 課題3) 空想クッキングレシピ/プレゼンボード作成 17. 課題3) 空想クッキングレシピ/グループ発表 講評会						
使用テキスト 教材等	特になし						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。						
履修にあたっての 留意点	取材で情報を聞き出す、検索調査で情報を集める力の修得。アイデアを伝えるための打合せ能力、役割分担。短く的確に伝える文章表現を研究する。						

授業科目	デザイントリアルⅡ	講義	実技	演習	単位時間32←単位2 単位時間64←単位4 単位時間96←単位6	前期	後期
教科担当	瀧田 龍晃	実務経験		広告プランナー歴 1 2 年			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科 2年	担任		瀧田 龍晃			
授業の概要	主に産学連携授業の一環として企業から依頼された作品制作を行う。今年度は(株)プロトの依頼で同社が手掛ける販売促進マニュアルに掲載される広告物のデザイン(ひな形)の一部を制作する。販売促進マニュアルは全国の自動車量販店や関連商品の店舗(約5000軒)に配布され、各種広告物をプロトが受注し、ひな形を基に制作する。企画デザイン科はこの産学連携を通しプロの仕事を実際体験して制作物が商品化される貴重な機会を得る。デザイントリアルではこの一連の仕事体験を経て、将来各自の希望する企画デザイン系の仕事に就いた際の能力を養う。						
学修内容 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前オリエンテーション 産学連携の意義 2. 企業様を招いて会議 挨拶 各自自己紹介 今回の仕事の概要説明 3. デザインミーティング スケジュール会議 4. プレゼンテーション用デザイン制作 (ラフスケッチ) 5. 企画デザイン制作① 6. 企画デザイン制作② 7. 企画デザイン制作③ 8. 企画デザイン制作④ 9. 企画デザイン制作⑤ 10. プレゼンテーション (各自デザインコンセプトの発表) 11. 担当教官より個別修正指導 12. デザイン修正作業 13. 企業様へデザイン提出 14. 各自制作物をポートフォリオ化 15. 企業様より採用の報告 優秀作品発表 講評 16. 著作譲渡 契約書交換 反省会議 効果測定 17. プレゼンテーションアドバイス 効果的なフロー 講義 						
使用テキスト 教材等	企業から頂いた販促マニュアル 見本						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができていない【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに平常点【20点】を加算して算出する。平常点は、授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。						
履修にあたっての 留意点	企業様との打ち合わせやミーティングも多い、マナーの向上に努める。						

授業科目	印刷概論Ⅱ	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	井上 誠	実務経験		グラフィックデザイナー			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科2年	担任		瀧田 龍晃			
授業の概要	<p>ロゴ作りについてのテクニックを駆使したラベル制作。 様々な広告の種類を理解させ、効果的な活用法&事例紹介。</p>						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ロゴの作り方、テクニック イラストレーターにてロゴ作りにおけるテクニック指導 2. パッケージデザイン パッケージデザインにおける歴史、目的、種類 3. オリジナルラベル制作① 複数案ラフ制作、指導 4. オリジナルラベル制作① 複数案ラフ制作、指導 5. オリジナルラベル制作① パソコンにてデザイン制作、指導 6. オリジナルラベル制作① パソコンにてデザイン制作、指導 7. オリジナルラベル制作② 複数案ラフ制作、指導 8. オリジナルラベル制作② 複数案ラフ制作、指導 9. オリジナルラベル制作② パソコンにてデザイン制作、指導 10. オリジナルラベル制作② パソコンにてデザイン制作、指導 11. ジャック広告 ジャック広告の解説、事例紹介 12. 紙サイズ、DM 紙から広告などサイズの解説、DMの解説 13. 挑発広告 挑発広告の解説、事例紹介 14. アンピグラム アンピグラム広告の解説、事例紹介 15. ラッピング広告 ラッピング広告の解説、事例紹介 16. アンビエント広告 アンビエント広告の解説、事例紹介 						
使用テキスト 教材等	教科担当が用意した資料 見本						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。 科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。 採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	ロゴ作りにおけるテクニックを身に着ける。						

授業科目	就職特別講座	講義	実技	演習	単位時間32→単位2 単位時間64→単位4 単位時間96→単位6	前期	後期
教科担当	瀧田龍晃	実務経験		カウンセリング歴21年			
授業クラス(専攻)学年	全学科 2年	担任		全クラス担任			
授業の概要	<p>専門学生として今後のキャリア形成を行なう上で必要なビジネスマナーや企業や社会における常識。会社組織のしくみ等 自分自身が未来に向けた目標設定や就職や進路に有益な知識を学ぶ。就職特別講座では主に採用試験に臨むべく面接の応対例を中心とした実践的な内容を学び就職内定を目指す。</p>						
学修内容 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就活スケジュール管理 2. 求人票の見方企業選択の基礎知識 3. キャリアとは何か 4. 学生生活から職場生活への変化 5. 基本姿勢とコンプライアンス 6. 仕事の基本となる8つの意識 7. 会社訪問試験等準備 8. 面接でソンをする行為 9. 面接ポイントのイメージ修正 不採用になる例 10. ディベートとは 11. 面接対策1 応対例を考える 12. 面接対策2 応対例を考える 13. 面接対策3 応対例を考える 14. エントリーシートへの書き方 15. 各種御礼文書の書き方 16. 面接成功のコツ 17. 企業選択の方法 ② 						
使用テキスト 教材等	マイロード2 1 関連資料 (授業用レジメ) 毎時配布 A4クリアファイル						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができていない【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに平常点【20点】を加算して算出する。平常点は、授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	段階を追ってキャリア形成に必要な知識やマナー、応対例を学ぶ。この授業で学び日常でそれを実践してこそ、学習の成果となる。						

授業科目	WEB演習Ⅱ	講義	実技	演習	単位時間32←単位2 単位時間64←単位4 単位時間96←単位6	前期	後期
教科担当	古田 雅仁	実務経験		WEBデザイナー			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科 2年	担任		瀧田			
授業の概要	WEB演習Ⅰで学んだ知識をさらに活用して、Webサイトを制作する。デザイン・コーディング・アップロードの方法を修得し、Webサイトを制作・公開するスキルを身につける。						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> HTML復習とHTML5について HTMLの記述ルールを復習し、最新のHTML5について学習する。 CSS復習とCSS3について CSSの記述ルールを復習し、最新のCSS3について学習する。 CSS3を使ったレスポンスwebデザインについて Flexboxを活用した最新のレイアウト技法を学習する。 【課題1】レスポンスwebデザインのランディングページ制作 見本を参考にランディングページを制作。PCサイトのデザインを完成。 【課題1】レスポンスwebデザインのランディングページ制作 引き続きランディングページを制作。スマホサイトのデザインを完成。 【課題1】レスポンスwebデザインのランディングページ制作 引き続きランディングページを制作。HTMLのコーディングする。 【課題1】レスポンスwebデザインのランディングページ制作 CSSでコーディングし、ランディングページを完成させる。 JavaScriptを使用した動的表現について 課題1で制作したページにjQueryを導入し、動的表現について学習する。 【課題2】レスポンスwebデザインのポートフォリオサイト制作 ポートフォリオサイトを制作する。PCサイトのデザインを作成する。 【課題2】レスポンスwebデザインのポートフォリオサイト制作 PC版のデザイン完成。スマホサイトのデザインをする。 【課題2】レスポンスwebデザインのポートフォリオサイト制作 スマホ版のデザインを完成させる。 【課題2】レスポンスwebデザインのポートフォリオサイト制作 全ページのHTMLをコーディングする。 【課題2】レスポンスwebデザインのポートフォリオサイト制作 トップページのCSSをコーディングする。 【課題2】レスポンスwebデザインのポートフォリオサイト制作 作品ページのCSSをコーディングする。 【課題2】レスポンスwebデザインのポートフォリオサイト制作 作品ページのコーディングを完了、サイトを完成させる。 FTP接続について DWでファイルをwebサーバーへアップロードする方法を習得する。 						
使用テキスト 教材等	デザインの学校 これからはじめる HTML & CSSの本 オリジナルテキストを必要に応じて配布						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができていく【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに平常点【20点】を加算して算出する。平常点は、授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。						
履修にあたっての 留意点	Web制作の流れを掴み、HTML・CSS・JavaScriptそれぞれの特性を学習する。サイト制作は遅れないように進捗状況を共有。適宜、アドバイスやサポートを行う。						

授業科目	広告デザインⅡ	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	井上 誠	実務経験		グラフィックデザイナー			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科2年	担任		瀧田 龍晃			
授業の概要	制作物を「商品」として成立させるための知識と技術を身につけ、より質の高い、社会の時流に合った広告表現を目指す。各制作物は全員の前でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションの向上を図る。						
学修内容 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ①ACジャパン シリーズポスター制作 ラフスケッチ複数制作、チェック 2. ①ACジャパン シリーズポスター制作 ラフスケッチ複数制作、チェック 3. ①ACジャパン シリーズポスター制作 素材の準備、指導 4. ①ACジャパン シリーズポスター制作 素材の準備、指導 5. ①ACジャパン シリーズポスター制作 ポスターパソコン制作、指導 6. ①ACジャパン シリーズポスター制作 ポスターパソコン制作、指導 7. ①ACジャパン シリーズポスター制作 ポスターパソコン制作、指導 8. ①ACジャパン シリーズポスター制作 プレゼンテーション、講評 9. ②企業または商品 新聞広告制作 広告サイズの選定、ラフスケッチ複数制作、チェック 10. ②企業または商品 新聞広告制作 広告サイズの選定、ラフスケッチ複数制作、チェック 11. ②企業または商品 新聞広告制作 素材の準備、指導 12. ②企業または商品 新聞広告制作 素材の準備、指導 13. ②企業または商品 新聞広告制作 新聞広告制作、指導 14. ②企業または商品 新聞広告制作 新聞広告制作、指導 15. ②企業または商品 新聞広告制作 新聞広告制作、指導 16. ②企業または商品 新聞広告制作 プレゼンテーション、講評 						
使用テキスト 教材等							
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	完成度の高い作品制作を目指す。コピー表現も熟考する。						

授業科目	ワークショップ I	講義	実技	演習	単位時間32→単位2 単位時間64→単位4 単位時間96→単位6	前期	後期
教科担当	間瀬友恵	実務経験		造形作家			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科 2年	担任		瀧田龍晃			
授業の概要	デザイン・絵画・工芸・装飾など総合的な造形分野における基礎的諸技術を習得						
学修内容 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	1. 型染め (アイデアスケッチ) エコバック・Tシャツなどにデザイン。 2. 型染め (型彫り) オリジナルの型を制作。 3. 型染め (型彫り) オリジナルの型を制作。 4. 型染め (着色) 布に着色。 5. 陶芸 玉作りの技法。 6. 陶芸 玉作りの技法。 7. 陶芸 ひも作りの技法。 8. 陶芸 ひも作りの技法。 9. 陶芸 たたら作りの技法。 10. 陶芸 たたら作りの技法。 11. 陶芸 電動ろくろの技法。 12. 陶芸 電動ろくろの技法。 13. 陶芸 電動ろくろの技法。 14. 陶芸 電動ろくろの技法。 15. 織り カード織り・木柀織りの実習。 16. 織り カード織り・木柀織りの実習。 17.						
使用テキスト 教材等	プリントを配布						
成績評価方法 及び基準	作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、デザイン的な構成・配色や表現ができていない【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。複数の担当教員によって行われる科目の場合は、複数担当者の中から責任者を定め評価する。各科目の成績は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は授業の欠課1回に対して1点減点とする。採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。						
履修にあたっての 留意点	実習で使用するものを必ず持参すること。						

授業科目	編集デザイン	講義	実技	演習	単位時間32→単位2 単位時間64→単位4 単位時間96→単位6	前期	後期
教科担当	井上 誠	実務経験		グラフィックデザイナー			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科2年	担任		瀧田 龍晃			
授業の概要	リーフレットの定義を理解させる。個々でクライアント、折の種類、形を決め制作させる。折のあるリーフレット作成でエンドユーザーに興味を持ってもらえるか考察する。						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション リーフレット定義、折についての説明 2. ラフ制作 複数案ラフ制作、クライアント選定、リーフレット形状、記載内容の選定 3. ラフ制作 複数案ラフ制作、クライアント選定、リーフレット形状、記載内容の選定 4. ラフ制作 複数案ラフ制作、クライアント選定、リーフレット形状、記載内容の選定 5. ラフ制作 複数案ラフ制作、クライアント選定、リーフレット形状、記載内容の選定 6. デザイン制作 パソコンにてデザイン制作、指導 7. デザイン制作 パソコンにてデザイン制作、指導 8. デザイン制作 パソコンにてデザイン制作、指導 9. デザイン制作 パソコンにてデザイン制作、指導 10. デザイン制作 パソコンにてデザイン制作、指導 11. デザイン制作 パソコンにてデザイン制作、指導 12. デザイン修正 教科担当より個別修正指導、アドバイス 13. デザイン修正 教科担当より個別修正指導、アドバイス 14. デザイン修正 教科担当より個別修正指導、アドバイス 15. リーフレット加工 各自ハサミ、カッター等を使用しリーフレットを完成させる 16. リーフレット加工 各自ハサミ、カッター等を使用しリーフレットを完成させる 						
使用テキスト 教材等	教科担当が用意した資料 見本						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	リーフレットの流れ、誘導を理解し制作させる。						

授業科目	広報ビジネス演習	講義	実技	演習	単位時間32—単位2 単位時間64—単位4 単位時間96—単位6	前期	後期
教科担当	慈性	実務経験		企画制作			
授業クラス(専攻)学年	企画デザイン科2年	担任		瀧田			
授業の概要	企画デザイン全般の実践的運営技術の習得						
学修内容 ・ 課題内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. やさしい文章を書くためのルール「主語：述語」「修飾語」「接続詞」の課題を通じての習得 2. 簡潔な文章を書くためのルール「文のプロット」の習得 3. わかりやすい文章を書くためのルールの取得・「イラストを観てストーリー」作成練習 4. 論述課題「AIの将来についての自分の意見」・・・自宅課題 6. ～「AIの将来についての自分の意見」要約まとめ方の練習 7. 「ビジネスレター」・「メールの使い方とマナー」の課題を通じての習得 8. 「挨拶文(社内・社外)」の書き方・「地図」を使った道案内の課題 9. ※相手の立場になって表現。「見取り図」を用いて説明文を作成する課題。 10. 「京都旅行キャンペーン」/キャッチ文とターゲット毎のPR文作成演習。 12. ～「京都旅行キャンペーン」の文章の改訂 13. 「リード文」の改訂の課題/会話調を用いて心のつぶやきを表現する。 14. 企画書「ホテル年末イベント」を使用して、企画書の記述方法を学ぶ。 15. 企画書「WEB制作提案」を使用して、企画書の改善改訂を行う。 16. 「ウォークマン制作秘話」の文章の読み手の共感化をはかる演習。 17. 「スクールの紹介と勧誘」のリード文の改訂演習で、説得力の向上。 18. 読み手をひき付ける文章の作成/「映画レビュー」の作成演習。 						
使用テキスト 教材等	適宣プリント配布						
成績評価方法 及び基準	<p>作品制作の発想の段階で、幅広いアイデアから検討されている【20点】。目的に沿ったコンセプトを立て、適切なレイアウト・配色がなされている【80点】。この2点の合計で、作品評価【100点満点】とする。作品課題が複数の場合は、作品評価点(各100点満点)の総合計を課題数で割った平均とする。</p> <p>科目の最終評価点は、作品評価に0.8を乗じたものに、平常点【20点】を加算して算出する。平常点は欠課1回に対して1点減点とする。</p> <p>採点基準は、100点～90点=S、89点～80点=A、79点～70点=B、69点～60点=C、60点未満=D(不合格)とする。</p>						
履修にあたっての 留意点	筆記用具・データ保管用媒体・配布したテキストを収納するファイル						